



研究室では
「ご安全に！」

危険の把握, 安全巡視と
ヒヤリハット

片桐利真

東京工科大学教授 理博 著

A5判, 224ページ

ISBN : 978-4-339-07816-9

定価 : 3,024円 (本体2,800円+税)

本書は、研究現場での安全推進や安全指導を担う人材（研究室のリーダーや将来の管理職）の育成を目的とし、基礎的な教養や心構えから危険要因の分析とその安全対策が立てられるところまでが身に着くように実例を交えて解説している。

ご注文書

コロナ社営業部行 FAX : 03-3941-3137

番線印	<p style="text-align: center;">研究室では「ご安全に！」</p> <p style="text-align: center;">- 危険の把握, 安全巡視とヒヤリハット -</p> <p style="text-align: right;">定 価: 3,024円</p> <p style="text-align: center;">ISBN 978-4-339-07816-9 株式会社 コロナ社</p> 書店ご担当者様	注文部数
-----	---	------



株式
会社

コロナ社

〒112-0011 東京都文京区千石4-46-10 振替00140-8-14844
 TEL (03)3941-3131 (代), -3132, -3133 (営業部直通)
<http://www.coronasha.co.jp> FAX (03)3941-3137
 E-mail eigyo@coronasha.co.jp

※ 裏面にて目次詳細がご覧になれます ⇒

研究室では「ご安全に！」

- 危険の把握, 安全巡視とヒヤリハット -

【目次詳細】

第Ⅰ部 安全推進のための「教養」

1. 安全の哲学・倫理 (JCO ショック/TPO に依存する善悪の判断の必要性/応用倫理学とのやりとり/プロフェッショナルの矜持, 社会的な期待/学会の倫理規定/シティーコープ・ビルでの秘密維持と公益通報/公益通報, 内部告発はつねに正しいか?/この章の課題) 2. 安全の法律 (法律とは/コンプライアンスとは?/福島第一原子力発電所の事故とコンプライアンス/プロに求められるもの/労働安全衛生法の目的/労働安全衛生法のしくみ/労働安全衛生法の作るしくみ/安全関係の資格/この章の課題) 3. 安全の心理 (安全と安心の峻別/心理バイアス・認知バイアス: スロビックの11 因子/地震の経験/大川小学校の悲劇: 恒常性バイアスと多数派同調バイアス/「津波てんでんこ」の教訓/他愛行動か? 手段の目的化か?/日本人の特性, レジリアンス/リスクコミュニケーション/この章の課題) 4. 化学物質のリスク-1 (危険物) (化学物質のリスクとは/化学物質のリスクの情報源: MSDS/化学実験の時の保護具・実験スタイル/化学のリスク: 危険性/コラム: 引火するかしないか/この章の課題) 5. 化学物質のリスク-2 (有害性) (有害性とは/サリン事件: 有害物から身を守るには/情報の重要性/有害物の侵入経路/毒と薬は紙一重: 暴露量, 作用量/有害物の作用部位と作用機序/人工毒・天然毒/有害性に関する情報源/コラム: セベソの悲劇から/番外編: う歯(ムシ歯) 予防のフッ素塗布について/この章の課題) 6. 電気電子の安全 (関西電気保安協会のCM/感電の思い出/感電について/感電対策・処置/電気火災/アースとその過信の危険/通電火災/安全装置の過信: 実験器具のリスク/この章の課題/コラム: 電磁皮による発ガンの可能性について) 7. 機械・回転体の安全 (機械の力/安全確保の三原則/機械実験の保護具, 服装スタイル/コラム: 指差呼称/作業の安全/この章の課題) 8. 情報の安全 (Safety と Security/情報社会での安全の MUST 項目/ハードの盗難被害と防止対策/ソフトの保管と不正使用防止/コンテンツ犯罪/ネチケット/SNS: 匿名の畏/電子ジャーナルの使用上の注意/ネット情報の信頼性/この章の課題)

第Ⅱ部 ヒヤリハット報告書の作成とその指導 (危険の見つけ方)

9. 身近な危険 (家庭内の危険/意外に危ない家の中/食の安全/交通の安全/若者の未熟さに起因する危険/対策すべき危険, 後回しにしてよい危険, 1 万分の 1 人/年/コラム: スマホとその中毒/この章の課題) 10. 危険要因分析 (魚の骨を描く) (危険要因分析の意味/危険要因分析の目的: ハインリッヒの法則の意味/危険要因の分類/危険(要因)の認識/魚の骨図を作成する/この章の課題) 11. 安全対策の立て方 (TPO により異なる対策立案/危険要因をなくすことはできない/誰が安全対策を立てるのか: トップダウンとボトムアップ/防止対策と局限対策/危険の認識/リスク・ホメオステシス/想定される被害を意識して安全対策を考える/安全対策立案の手法/安全対策立案の阻害要因/この章の課題) 12. ヒヤリハット報告書 (よくある話/書式/ヒヤリハット報告書の書き直し指導/指導者に求められるもの/この章の課題) 13. 安全巡視 (職場安全巡視の心得/職場安全巡視の実際/この章の課題)

あとがき/参考文献: さらに学びたい方のための参考図書/索引